

農村環境向上活動情報

平成20年6月30日

6月29日(日)、余瀬水と緑を守る会(大田原市余瀬:阿久津清二代表)では、「簡易な水田魚道」を設置し、水田に魚類等を遡上させる取組をはじめました。

当日は、梅雨本番の悪天候のため作業が懸念されましたが、少しでも早く設置すべきとの意見が多数を占め、「メダカ里親の会」と連携しながら、元気に楽しく取り組みました。

会では、水田への遡上状況を地域で確認しながら、今後とも生きものに配慮した色々な取組を進めていきたいと話されていました。

今回設置した水田魚道は、「角型U字溝可動式180mm」
作業時間は2時間程度、材料費は約7万円程度でした

土砂降りのため代表者宅の倉庫内で組み立て



現地で据え付け



完成

